

人口と世帯		人口	33,867人	(23人増)
	男	17,330人	(20人増)	
	女	16,537人	(3人増)	
5月1日現在	世帯	13,426	(40世帯増)	
( )は前月比	外国人登録数	630人		



## イシガメの放流

5月18日、残堀川整備完成記念事業が行われ、式典後、整備された残堀川の上流(狭山池公園下)で、子どもたちが日本の固有種イシガメの放流をしました。  
 きれいな川であり続けて欲しいと願います。(関連記事13・24ページ)

おもな内容

平成19年度 予算の執行状況	行政改革 成果のお知らせ	2~3
みずほ伝言板	耕心館 指定管理者募集 ダイオキシン類測定結果、大気環境調査の結果 東京フィルハーモニー交響楽団サマーコンサート ほか	4~7
インフォメーション	草花の寄せ植え体験をしてみませんか 消防団の消火活動に伴う駐車のご協力について 堆肥を引き取ります ほか	8~11
福祉	児童手当・児童育成手当対象者の皆さんへ 学童保育クラブ夏季臨時指導員の募集 ほか	14~16
教育委員会からのお知らせ	就学援助費の申請はお済みですか アーリーサマーコンサート ほか	17~19

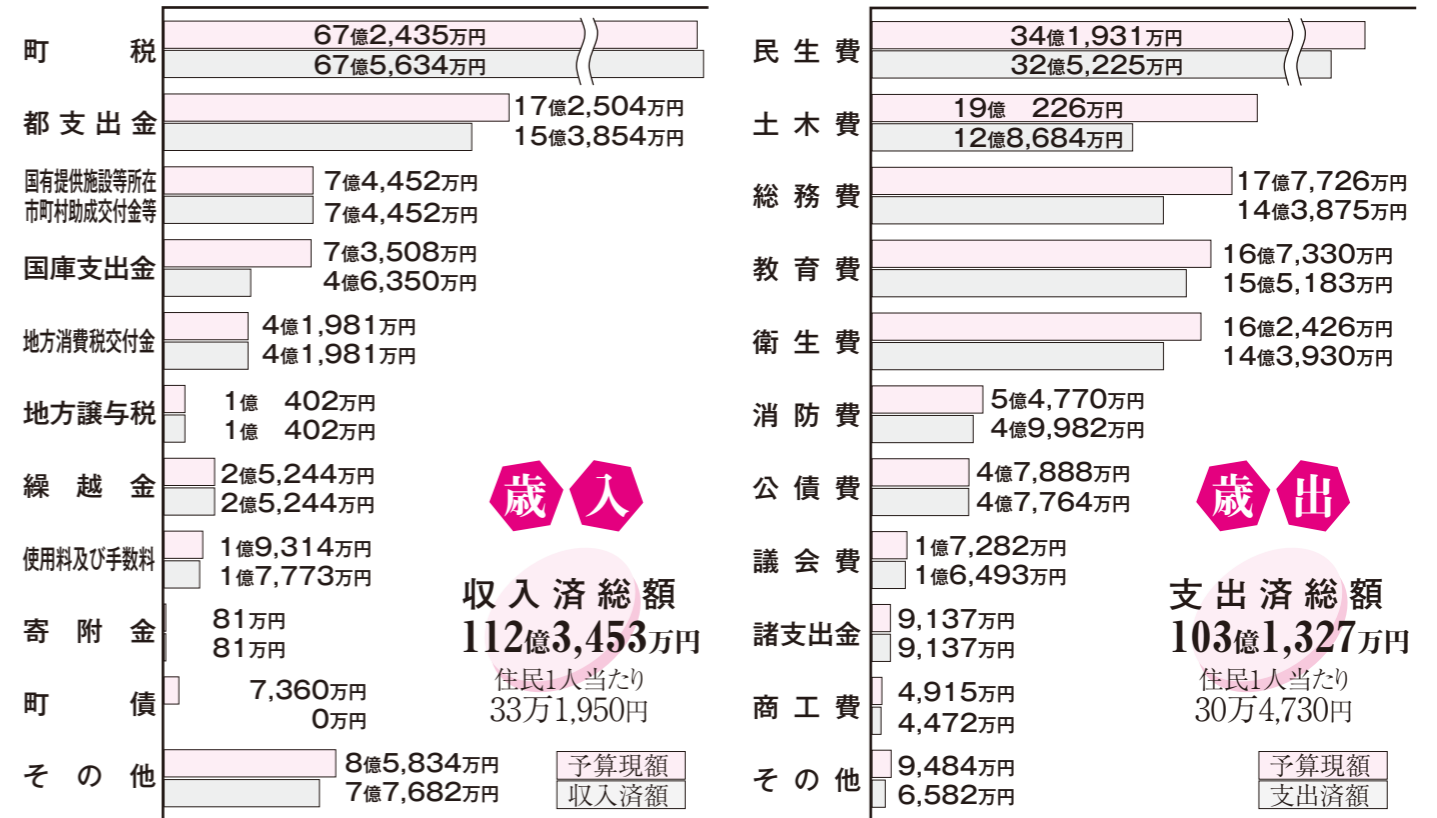


# 平成19年度 予算の執行状況 (平成20年3月31日現在)

## 一般会計

### 118億3,115万円

一般会計は当初予算で、118億2,320万円でスタートしました。これに4回の予算補正を行い、現在の予算額となっております。



**歳入**

収入済総額  
**112億3,453万円**  
住民1人当たり  
33万1,950円

**歳出**

支出済総額  
**103億1,327万円**  
住民1人当たり  
30万4,730円

※住民1人当りは、平成20年3月31日現在の人口(3万3,844人)で割った金額です。 ※予算現額には予備費充用額を含みます。

## 特別会計

特別会計	予算現額	収入済額(執行率%)	支出済額(執行率%)
国民健康保険	34億6,546万円	32億8,260万円 (94.7)	31億1,415万円 (89.9)
駅西土地区画整理事業	6億8,718万円	6億 218万円 (87.6)	3億 680万円 (44.6)
下水道事業	11億4,837万円	9億2,734万円 (80.8)	8億8,034万円 (76.7)
老人保健医療	16億3,597万円	15億8,232万円 (96.7)	14億7,393万円 (90.1)
介護保険	13億4,425万円	13億1,603万円 (97.9)	11億8,321万円 (88.0)
殿ヶ谷財産区	551万円	551万円 (100.0)	38万円 ( 6.9)
石畑財産区	2,903万円	2,745万円 (94.6)	1,845万円 (63.6)
箱根ヶ崎財産区	823万円	786万円 (95.5)	168万円 (20.4)
長岡財産区	63万円	63万円 (100.0)	7万円 ( 11.1)
特別会計合計	83億2,463万円	77億5,192万円 (93.1)	69億7,901万円 (83.8)

### 町債の状況

- ◆一般会計事業債.....48億5,107万円
- ◆下水道事業債.....33億5,315万円
- ◆駅西土地区画整理事業債.....7億5,100万円
- ◆介護保険事業債.....537万円

### 町の財産

- ◆土地.....48万1,783㎡
- ◆建物.....8万2,077㎡
- ◆基金総額.....89億5,925万円

# 行政改革成果のお知らせ

町では「瑞穂町第3次行政改革大綱(平成17年10月策定)」に基づき、行政改革を進めています。大綱では、次の4つの大きな理念を掲げています。

- 1 住民とともに進めるまちづくり
- 2 行政評価システムの推進と機能的・効率的な組織づくり
- 3 行財政基盤の強化と時代変化に対応する行財政運営
- 4 行政改革の継続性の確保

この理念を実現するための取り組み計画(「実施細目」といいます)を、毎年度事業を実施していますが、その取り組みがしっかりと進んでいるかを毎年度確認し、住民の代表8人で組織した行政改革推進委員会に3月31日に報告していますので、その内容をお知らせします。

平成19年度の達成状況は、113項目のうち「一定の成果を得た項目」が52項目、「現在取り組み中であるが目標を達成していない項目」が30項目ありました。「達成できなかった」、もしくは平成20年度から取り組みを開始する予定の項目については、今後さらに計画的に進めていきます。

平成19年度の行政改革の成果は、決算額が確定していないため見込みの数値ですが、収入の確保は約4900万円、支出削減は約7000万円の効果があり、合計約5600万円の節減効果が上がりました。この節減金額は、今後、施設の改修や新たな行政課題に投資することになります。

### 平成19年度の成果

平成19年度に取り組んだ  
主な内容

- 指定管理者制度の活用  
指定管理者制度の活用を検討した結果、石畑保育園は平成20年4月から指定管理者による運営を開始しました。耕心館は平成20年10月から指定管理者に移行することを決定しました。また、指定管理者による自己評価や

指定管理を評価するシステムを他自治体先駆けて開発し、試行しました。

### ●部制の導入

住民サービスを向上させることを目的として、行政管理機能を強化するとともに横断的に機能する組織とするよう検討した結果、平成20年4月から部制を導入しました。今後も課や係の統廃合を視野に入れて継続的に組織を見直し、人員や人件費の抑制に努めます。

### ●人事考課制度の導入

職員を育成するとともに、能力・成果主義によって職務を評価する人事考課制度を導入しました。また、評価結果を昇給に反映させる査定昇給制度を主軸とした給与構造改革を行いました。平成19年度の人事考課の結果は、管理職の昇給に反映させました。

### ●財源の確保

防衛省から米軍再編に伴う交付金として平成19年度から10年間で約11億円を確保しました。平成19年度は、約3900万円の歳入となっています。自主財源としては、税の差し押さえによる滞納整理の強化等により財源の確保を行いました。また、国・都の補助金を積極的に活用しました。

行政改革推進委員会(3月31日開催)からいただいた  
主な意見

●受益者負担の適正化について  
公共サービスを受けることについては、今後、利用者による多少の負担をいただくことも考えるべきである。会館使用料等についても検討を進めるべきである。

### ●部制導入について

部制導入後は、組織のスリム化を推進し、その節減額を行政サービスのために使うべきである。部内または部間においては、情報の共有化を図ること。また、事務の一元化として、同様の事務を複数の部署で行っている場合は、共通する事務を統合してスリム化を図ること。

### ●職員の意識改革について

職員の行政改革に対する意識の低下が懸念される。積極的に意識を高揚に取り組むこと。平成20年度中に職員の行政改革に対するアンケートを実施すること。

問合せ 企画財政課

☎557-7468